

森と湖に親しむ旬間イベント

宮ヶ瀬ダム 内部見学会

H25

7月27日(土) 28日(日)

受付時間

1回目 11:20～12:00

2回目 14:20～15:00

受付場所

ダム管理事務所1階

※事前申し込みは不要です。

見学無料

観光放流

1回目 11:00～11:06

2回目 14:00～14:06



台風や大雨等、天候によって観光放流を中止する場合があります。
あらかじめご了承ください。



※あいかわ公園駐車場（有料）をご利用ください。

※天候により中止する場合があります。

※ご来場の際は、あらかじめ宮ヶ瀬ダムHPでご確認下さい。

お問い合わせ：相模川水系広域ダム管理事務所 046-281-6911

<http://www.ktr.mlit.go.jp/sagami/>





宮ヶ瀬ダム森と湖に親しむ旬間

ダム監査廊一般開放

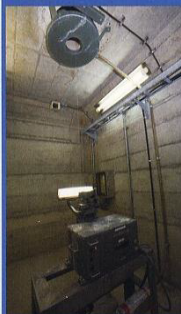
ダムには、貯めている水から常に大きな力がかかっています。大地震にも耐えられる頑丈な宮ヶ瀬ダムですが、小さな異常も見逃すことはできません。そのため、宮ヶ瀬ダム本体の中には、約2kmにわたり、監査廊（かんさろう）と呼ばれる通路が、迷路のように張り巡らされていて、ダムの内部にあるゲートの操作室や、計測室などにつながっており、この監査廊を巡回して、異常がないかどうかをチェックしています。

エレベータ



ダム堤体内部には2基のエレベータが設置されており、放流設備などの機器の交換や、点検等の維持管理に利用されています。そのうち1基のエレベータは、ダムの体験学習を目的として一般見学者も利用できます。

プラムライン

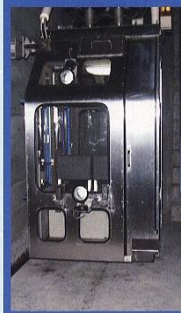


水圧や地盤の変形などにより、ダム堤体に生じるひずみを測定し、ダムの安全性をチェックする計器です。ダム上部からおもりを吊ったノーマルプラムラインと、岩盤からワイヤーを引っ張り上げたりバースプラムラインがあります。

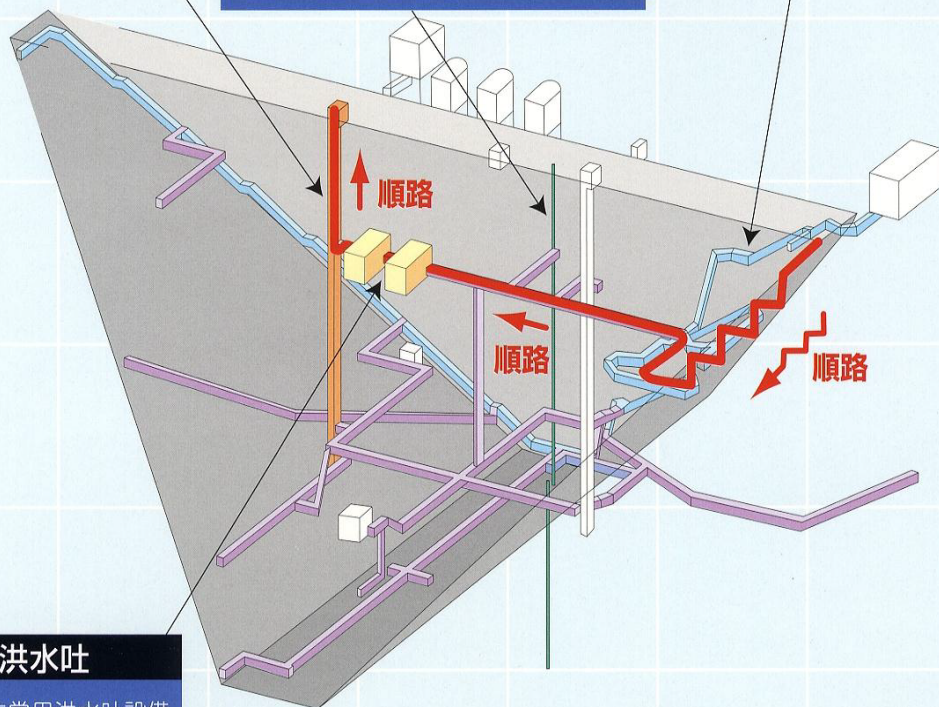


点検時には、スコップを使ってワイヤーの位置のずれを0.1mm単位で計測します。

点検用モノレール



宮ヶ瀬ダムは巨大なダムなので、点検を効率良くおこなうために、堤体内部には4人乗りの点検用モノレールが設置されています。これによって広いダム内部をじっくりと点検することができます。



高位常用洪水吐



高位常用洪水吐設備はダム堤体を上下流方向に貫通する二本の放流管路の途中にあります。ダム水圧に耐えられる頑丈なステンレス鋼の扉が油圧によって上下に動き、管路内の水を流したり止めたりしています。

監査廊



ダム堤体の内部に設けられた点検や観測のため通路です。宮ヶ瀬ダムを効率よく安全に管理・運営するための、さまざまな管理設備や計測機器の点検・観測に使用しています。

